AIマテリアル開発研究拠点の形成に向けた情報提供依頼（RFI）

＜情報提供依頼（RFI）の背景・趣旨＞

株式会社野村総合研究所は、内閣府より「令和８年度 マテリアル革新力強化戦略推進方策の実施に向けた総合調査および支援業務」の委託を受け、その一環として、本情報提供依頼（RFI）を実施しています。

内閣府では、「令和８年度マテリアル革新力強化戦略推進方策」に基づき、AI for Materials により従来比10倍の開発速度を実現することを目指し、エレクトロニクス・自動車・エネルギー・インフラの4分野において、不可欠性部素材で「勝ち続ける」ための取組を進めており、その実現に向け、川上～川下産業・分析機器産業・アカデミアの結節点となる「AIマテリアル開発研究拠点」を整備する方針であり、令和10年度以降の拠点事業の企画・設計を行っております。

本RFIは、マテリアル分野、特に不可欠性部素材について、推進すべきテーマおよび拠点機能について、産官学の皆様から広くご意見・情報をいただくことを目的としています。

＜本様式の構成＞

本様式は、「AIマテリアル開発研究拠点の形成に向けた情報提供依頼（RFI）の公募に関する基本的な考え方」に示す、以下の流れを踏まえ、構成されています。

①分野　→　②材料ニーズ　→　③材料開発上の課題　→　④材料開発ソリューション　→　⑤拠点運営機能

各シートで回答いただく内容・主に想定する回答主体は以下の通りです。

シート	回答いただく内容
回答A_回答者情報	ご連絡先等（必須）
回答B_材料ニーズ起点のテーマ	①分野・②材料ニーズを起点に、③材料開発上の課題・④材料開発ソリューションが求められるかを記載いただく形式のテーマのご提案
回答C_材料開発ソリューション起点のテーマ	③材料開発上の課題・④材料開発ソリューションを起点に、どのような①分野に対応するかを記載いただく形式のテーマのご提案
回答D_提案テーマに関連する情報・拠点運営機能	回答B・Cで回答いただいた提案テーマに関する情報・テーマに紐づいて求められる拠点運営機能に関するご提案等

※　回答B・Cについては、いずれかのシートでテーマをご回答いただく形で構いません。両方回答いただくことも問題ありません。

※　回答B・Cの中でも、ブロックごとに「わからない」「該当なし」の部分は回答しない形でも差し支えありません。一連の流れの一部のみのご回答でも十分に有用な情報となります。

※　回答B・Cについて複数ご提案いただく場合は、「回答A_回答者情報」が共通のものはB・Cのシートを複製し、「回答A_回答者情報」が異なるものは別ファイルにて回答してください。

＜ご記入にあたって＞

・灰色のセルにご記入ください。

・プルダウンが設定されているセルは、選択肢からお選びください。

・自由記述欄は、示された観点のすべてを網羅いただく必要はありません。お伝えいただきたい点を優先してご記載ください。

・営業秘密等に該当する情報の記載はお控えください。

＜提出方法と締切＞

本ファイルをご記入のうえ、電子メールに添付して下記宛先にご送信ください。なお、参考資料を併せて送付いただく等で合計6MBを超えるファイルを送付する場合は事前に事務局にご相談ください。

提出期限：2026年12月28日（月）　17:00

送付先：material-strategy-fs-rfi2026@nri.co.jp

担当者：株式会社野村総合研究所　エネルギー産業コンサルティング部　岡崎、宮本

＜提供いただいた情報の取り扱い＞

いただいた情報は、調査・分析の遂行のために、本調査の委託元である内閣府及び関係省庁に提供いたします。集計・分析の後、報告書としてとりまとめ、報告書は公表される予定です。
ただし、報告書においては個人・機関が特定されることのないよう十分配慮いたします。
また、個人情報については、NRIグループの「個人情報保護方針」および「個人情報の取り扱いについて」に則って取得・利用します。
・「個人情報保護方針」：　https://www.nri.com/jp/security.html
・「個人情報の取り扱いについて」：https://www.nri.com/jp/privacy.html

個人情報は、本RFIの内容について、個別に内容を照会する際に利用します。
また、回答者の個人情報を第三者に開示しないものとします。ただし、以下のいずれかに該当する場合は、取得した回答者の個人情報を開示する場合があります。
・法令にもとづく場合
・回答者が事前に同意された場合
回答者は、ご本人の請求により自身の個人情報の開示等をすることができます。回答者より開示等の請求があった場合、回答者の本人確認のため、身分証の提示その他本人確認に必要な情報の提供を求める場合があります。

＜お問い合わせ先＞

株式会社野村総合研究所　エネルギー産業コンサルティング部　担当：岡崎、宮本

メールアドレス：material-strategy-fs-rfi2026@nri.co.jp

※　認識の齟齬等を避けるため、電子メールでのお問い合わせにご協力ください。

＜本調査の委託元＞

内閣府　科学技術・イノベーション推進事務局　マテリアル担当

【回答A】回答者情報　※本シートの設問A1～A7は回答が必須となります

問い合わせ窓口となる主情報提供者について記載ください。
組織間連携による情報提供の場合、 主提供者が提供を行ってください（共同提供者については主提供者が情報を入力する形としてください）。

設問		回答欄
A1	所属機関名　※必須	
A2	所属部署名　※必須	
A3	お役職　※必須	
A4	お名前（氏名）　※必須	
A5	メールアドレス　※必須	
A6	電話番号　※必須	
A7	回答主体区分（最も近いもの1つ・プルダウン）　※必須 〔選択肢〕1. 川上産業（素材・材料を開発する企業）／2. 川下産業（材料を基に製品を組み立てる企業）／3. 分析機器産業／4. スタートアップ／5. 大学・国研／6. その他	
A8	共同でご回答される連携先所属機関名・部署名（主な先を3つまで・任意）	
A9	表紙に記載された＜提供いただいた情報の取り扱い＞に同意しますか	

【回答B】材料ニーズ起点のテーマ

本シートでは、①分野・②材料ニーズを起点に、③材料開発上の課題・④材料開発ソリューションが求められるかを記載いただく形式で、テーマをご提案いただきます。
本シートには1件のご提案をご記入ください。一部のブロックのみのご回答でも差し支えありません。
複数のご提案をいただける場合は、本シートを複製（本シート見出しを右クリック →「移動またはコピー」→「コピーを作成する」にチェック）し、シート名の末尾を「回答B-2_材料ニーズ起点のテーマ」のように連番にしてください。

【ブロック①②】テーマとすべき材料ニーズ及び、関連分野

B1 テーマとして取り上げる②材料ニーズ（最も近いもの1つ・プルダウン。近いものがない場合は「6. その他」を選択し、自由記述）	回答欄
〔選択肢〕1. 次世代データセンター向け材料／2. 先端半導体・パワー半導体材料／3. エネルギー変換・貯蔵材料／4. 資源制約に対応する材料／5. インフラ・モビリティ向け構造材料／6. その他	

※材料ニーズの選択肢の詳細は、「AIマテリアル開発研究拠点の形成に向けた情報提供依頼（RFI）の公募に関する基本的な考え方」の参考資料を参照してください。
※テーマの選択肢は例示です。「6. その他」を選択して、自由記述で回答いただくことも歓迎します。

B2 材料ニーズに基づき、開発する具体的な材料の領域（該当するものすべてに「○」）	回答欄
有機・高分子	
半導体・無機・セラミックス	
金属・合金	
複合材料	
5. その他	

B3 なぜこの材料ニーズ（②）を取り上げるべきか、自由にご記載ください。（1,000字以内）	回答欄
■ご記載にあたって（すべてを網羅いただく必要はありません。お伝えいただきたい点を優先してご記載ください）	
・材料が使用される最終製品市場の規模・成長の見通し、外貨獲得への寄与	
・日本（または貴組織）の強み・シェアと、国際競争の状況	
・具体的に開発が求められる材料	
・上記の材料が最終製品の性能を左右する理由、代替手段の有無	
・求められる性能水準（「現状値→目標値／達成時期」等の形式で）	

【ブロック③④】テーマを基に具体的に開発する材料の材料開発上の課題・必要な材料開発ソリューション

B4 上記の②材料ニーズに対して材料開発を行う際に求められる材料開発ソリューション（該当するものすべてに「○」。「5. その他」で「○」を選択した場合は、自由記述で回答）	回答欄
AI駆動ラボシステムの構築	
計算科学を活用した材料探索技術の確立	
材料構造の定量化・記述子化技術の確立	
実プロセス・実使用データを活用した予測技術の確立	
その他	

B5 ②材料ニーズに対して④材料開発ソリューションが求められる理由を、③材料開発上の課題を踏まえて、自由にご記載ください。（1,000字以内）	回答欄
■ご記載にあたって（すべてを網羅いただく必要はありません。お伝えいただきたい点を優先してご記載ください）	
・開発の律速・課題がある材料・工程とその内容 （探索空間の広さ、試作・評価の時間とコスト等）	
・従来手法（実験計画法、熟練者の経験則、既存のMI等）の延長では当該課題を解決できない理由	
・当該ソリューションが、上記の律速を解消する理由	
・当該ソリューションを成立させる上での前提（学習に足るデータの有無 等）	
・課題が解消された場合の効果（開発期間の短縮 等）	

【回答C】材料開発ソリューション起点のテーマ☒

本シートでは、③材料開発上の課題・④材料開発ソリューションを起点に、どのような①分野に対応するかを記載いただく形式で、テーマをご提案いただきます。
本シートには1件のご提案をご記入ください。一部のブロックのみのご回答でも差し支えありません。☒
複数のご提案をいただける場合は、本シートを複製（本シート見出しを右クリック →「移動またはコピー」→「コピーを作成する」にチェック）し、シート名の末尾を「回答C-2_材料開発ソリューション起点のテーマ」のように連番にしてください。☒

【ブロック③④】テーマとすべき必要な材料開発ソリューション及び、生じている材料開発上の課題

C1 テーマとすべき④材料開発ソリューション（最も近いもの1つ・プルダウン。近いものがない場合は「5. その他」を選択し、自由記述で回答）☒	回答欄
〔選択肢〕1. AI駆動ラボシステムの構築／2. 計算科学を活用した材料探索技術の確立／3. 材料構造の定量化・記述子化技術の確立／4. 実プロセス・実使用データを活用した予測技術の確立／5. その他	

※材料開発ソリューションの選択肢の詳細は、「AIマテリアル開発研究拠点の形成に向けた情報提供依頼（RFI）の公募に関する基本的な考え方」の参考資料を参照してください。
※テーマの選択肢は例示です。「5. その他」を選択して、自由記述で回答いただくことも歓迎します。

C2 ④材料開発ソリューションが対応する材料領域（該当するものすべてに「○」）☒	回答欄
☒ 有機・高分子☒	
☒ 半導体・無機・セラミックス☒	
☒ 金属・合金☒	
☒ 複合材料☒	
5. その他	

C3 上記の④材料開発ソリューションが求められる理由を、③材料開発上の課題を踏まえて、自由にご記載ください。（1,000字以内）	回答欄
■ご記載にあたって（すべてを網羅いただく必要はありません。お伝えいただきたい点を優先してご記載ください）☒ ・当該ソリューションが対象とする課題 （どの材料系・どの工程で、どのような形で生じているか） ・従来手法（実験計画法、熟練者の経験則、既存のMI等）の延長では当該課題を解決できない理由 ・当該ソリューションが、上記の律速を解消する理由 ・当該ソリューションを成立させる上での前提（学習に足るデータの有無 等） ・課題が解消された場合の効果（開発期間の短縮 等）	

☒

【ブロック①】テーマが対応する分野☒

C4 ①関連する分野（該当するものすべてに「○」）	回答欄
☒ エレクトロニクス☒	
☒ 自動車☒	
☒ エネルギー ☒	
☒ インフラ☒	
5. その他（戦略17分野における「主要な製品・技術等」の官民投資ロードマップに記載のあるマテリアル（重要鉱物・部素材）分野）	

☒

C5 テーマとすべき④材料開発ソリューションが、①分野に対応する背景を、自由にご記載ください。（1,000字以内）	回答欄
■ご記載にあたって（すべてを網羅いただく必要はありません。お伝えいただきたい点を優先してご記載ください）☒ ・選択した分野において、当該ソリューションが適用される具体的な材料・開発工程 ・当該ソリューションが複数の分野・材料ニーズに対応する背景 ー他分野・他材料に横展開できるか、それはなぜか ー個社の取組・課題に留まらないか ・特に優先して適用すべき材料ニーズ	

☒

【回答D】提案テーマに関連する情報・拠点運営機能

本シートでは、回答B・Cでご提案いただいたテーマに関連する情報・テーマを実現する上で求められる⑤拠点運営機能等を回答いただきます。

【提案テーマに関連する情報】☒

D1 提案したテーマにおける技術成熟度レベル（1つ・プルダウン）☒	回答欄
〔選択肢〕 1. TRL 1（基礎研究）／2. TRL 2（仮説）／3. TRL 3（検証）／4. TRL 4（研究室レベルでの初期テスト）／5. TRL 5（想定使用環境でのテスト）／6. TRL 6（実証）／7. TRL 7（生産計画）／8. TRL 8（スケール）／9. TRL 9（安定供給）	

D2 提案したテーマに最も関連する論文の論文情報・DOI（3件まで・自由記述）☒	回答欄
1. 第一著者名;発行年;論文名;Journal名;該当ページ の順（半角セミコロン区切り） DOI：Digital Object Identifier（不明の場合は記載不要）	
2. 第一著者名;発行年;論文名;Journal名;該当ページ の順（半角セミコロン区切り） DOI：Digital Object Identifier（不明の場合は記載不要）	
3. 第一著者名;発行年;論文名;Journal名;該当ページ の順（半角セミコロン区切り） DOI：Digital Object Identifier（不明の場合は記載不要）	

D3 提案したテーマに最も関連する特許の特許情報（3件まで・自由記述）☒	回答欄
1. 公開番号（特許登録済の場合、特許番号） 発明の名称 出願人 出願日（2026.04.01のような形で記載）	
2. 公開番号（特許登録済の場合、特許番号） 発明の名称 出願人 出願日（2026.04.01のような形で記載）	
3. 公開番号（特許登録済の場合、特許番号） 発明の名称 出願人 出願日（2026.04.01のような形で記載）	

D4 提案したテーマに関連する国または国立研究開発法人からの委託費・補助金による研究開発（3件まで・自由記述）☒	回答欄
1. 事業年度（西暦） 事業名（国プロの制度の名称） 研究開発テーマ名	
2. 事業年度（西暦） 事業名（国プロの制度の名称） 研究開発テーマ名	
3. 事業年度（西暦） 事業名（国プロの制度の名称） 研究開発テーマ名	

D5 その他提案したテーマに関連する成果や情報（例：国際標準化、製品・サービスの上市、国内外の社会経済情勢等）（300字以内）☒	回答欄

☒

☒【ブロック⑤】拠点運営機能☒

D6 提案したテーマを踏まえ、備えるべき拠点運営機能についてご記載ください。（1,000字以内、複数の機能について回答可）☒	回答欄
■ご記載にあたって（すべてを網羅いただく必要はありません。お伝えいただきたい点を優先してご記載ください）☒ ・拠点が備えるべき機能の詳細（以下、問いの観点を例示） ーマテリアル基盤モデルとして、どのようなモデルが求められるか ーモデルを構築するために、どのようなデータを収集・生成する必要があるか	

ーデータを共有しあうためには、どのような条件（利用ルール・求められる秘密計算技術等）が必要になるか	

D7 上記で回答した機能を必要と考える背景・理由を、自由にご記載ください。（1,000字以内）☒	回答欄
☒ご記載にあたって（すべてを網羅いただく必要はありません。お伝えいただきたい点を優先してご記載ください）☒	
・材料開発ソリューションを構築する・適用する上での課題	
ー競争領域ではなく、複数の企業に共通する協調領域の課題か	
・拠点運営機能として求められる理由	
ー既存の施策・機関が提供している機能で達成できない点は何か	
ー5年程度の拠点活動でどのような目標が達成できるか	

【その他】☒

D8 拠点に提供することが考えられるリソース（該当するものすべてに「○」）☒	回答欄
☒人材（出向・クロスアポイントメント）☒	
☒データ☒	
☒装置・実験設備☒	
☒計算資源☒	
☒ソフトウェア・アルゴリズム☒	
☒現時点で提供可能なものはない☒	
☒その他☒	
上記で選択した拠点に提供しうるリソースの詳細について、自由記述で回答してください	

※拠点への参画に、リソースの提供が必須となるわけではありません。また、本設問で回答した場合にリソースの提供が求められるということもありません。

D9 提案したテーマの検討・拠点運営機能の提供を実施する場合の主要な連携先の機関名・想定される役割（主情報提供者を含め3機関まで・自由記述）☒	回答欄
1. 機関名 想定される役割	
2. 機関名 想定される役割	
3. 機関名 想定される役割	

D10 その他全般に関するご意見（300字以内）☒	回答欄

☒上で終わりです。ご協力いただき誠にありがとうございました。